

卓 話

第 2770 地区 ロータリー財団部門
ポリオ・プラス委員会 委員長 荒蒔 良和様
「オーストラリア山火事 保護プロジェクト・
ポリオ根絶活動現状について」

グローバル補助金プロジェクト
の現状
(大宮西ロータリークラブ
⇨タリー・オン・マニング RC)



2021年7月、7つ目の重点分野
「環境」

グローバル補助金プロジェクト受付開始

2019年9月～2020年2月に発生した
オーストラリア森林火災

長期活動として、再発防止策の実行

再発防止策の実行

～森林火災頻発エリアに対する貯水タンク設置支援～

次なる森林火災の発生

- 森林全体が乾燥することにより、落ち葉や枯れ草の水分が失われ、摩擦が起る可能性が高くなって、発火しやすい環境が継続する
- 地球温暖化による気温の上昇、気候変動による異常少雨、干ばつによる乾燥

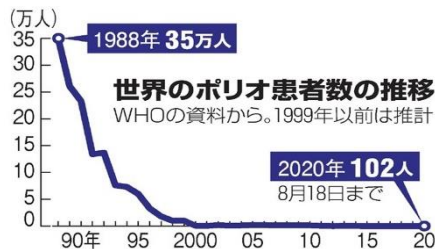
持続可能性の検討



ポリオ・プラス根絶活動の現状

私たちの寄付はどのように使われているのか…？

『あと少し』の中、今後どのような計画で根絶活動を進めていくのか…？



野生型ウイルスによる、現在の発症数
～ポリオ根絶には、野生型ウイルスによる発症2カ
国でウイルスの感染を断ち切る必要がある～

私たちの寄付は
どのように使われているのか…？



1988年以来、ポリオ発症数は99.9%減…しかし、根絶まで活動の手を緩められない
それはなぜか…ポリオ再流行のリスクがあるから
ポリオ根絶なしには、今後10年間に、新たな発症数が世界で20万件に上るとも…
だから…監視が、ワクチン接種が、予防接種が…まだ必要

(1) ポリオ根絶が近づくにつれ、ポリオ再流行のリスクを遮断するために『世界中すべての地域から、本当にポリオがなくなったことを確認する』(発症者の特定やウイルスの検知(監視))

ことが、ますます重要になる。

(2) その間も、ワクチン投与は必要

① そのために、**ワクチン接種が必要**

⇒製造工場から出荷され、子どもの口に入る**まで、ワクチンを2～8℃に保つ**必要がある。

② そのために、**警護が必要**

→治安上、宗教上の理由等により、ワクチン投与そのものを良しとしない状況下での活動のため、ワクチン投与者の警護が必要となる。



『あと少し』の中で、今後どのような計画で、根絶活動を進めていくのか…？



The PolioPlus Society
ポリオプラス・ソサエティのご案内

地区大会にて
ポリオプラス・ソサエティ登録者を対象に
登録証およびバッジ(左図)を授与!!

【本活動推進にあたっての課題】

1. 『知名度』不足

当地区内での本プログラムの『知名度』は、ほぼゼロ…プログラム内容そのものに加え、その意義を伝える啓蒙活動が必要。

2. 管理体制の欠如

現状では、当地区は元より、国際ロータリーにおいても、登録者情報を管理していない。

3. 実行・管理体制の構築

本プログラム実行・管理体制を、イチから構築する必要がある。



各クラブから、『あと1人』…ご協力をお願い申し上げます。

